

見ぬま田んぼ

野草スケッチ「カントウヨメナ」 関東嫁菜

分類：キク科 ヨメナ属

花言葉：女性の愛情、隠れた美しさ、従順



2011. 8. 6 通船堀西堀

※

ヨメナの名がつく野菊は幾つかあるが、この花はカントウヨメナと思われる。夏から秋にかけて道端や野原のあちこちに薄紫色の小さな可愛い花が咲いている。関東以北に分布し、草丈がより低く、果実の冠毛（上端にある毛のような突起）がヨメナよりも短いとのこと。



☆

「カントウヨメナ」

世界：	日本固有種
生育地：	日本（本州：関東地方以北） 水田の畦など湿った場所
茎 丈：	よく枝分かれ 40～100 c m
葉	葉は互生
花期：	7～10月
花・花色：	紫 2.5cm 舌状花は10～20個
種子：果実	2～3mmの倒卵形
特徴：	多年草 若葉は食べられる。
由来	一説には、美しく優しげな花を咲かせるため「嫁」の名がつくとされている
	写真と解説 カントウヨメナ - 植物図鑑-エバーグリーンとWikipediaよりお借りしました 2022. 7. 6